

2018年9月10日  
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平  
担当ワーキンググループ主査 谷本 寿男

ミャンマー国東西経済回廊整備事業（フェーズⅡ）  
（協力準備調査（有償））  
スコーピング案に対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年8月17日（金）13:59～16:59
- ・場所：JICA 本部（1階111会議室）
- ・ワーキンググループ委員：久保田委員、谷本委員、原嶋委員、福嶋委員  
（久保田委員はメール審議にて参加）
- ・議題：ミャンマー国東西経済回廊整備事業（フェーズⅡ）（協力準備調査（有償））  
スコーピング案についての助言案作成
- ・配布資料：協力準備調査報告書（スコーピング案）、回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第94回助言委員会）

- ・日時：2018年9月10日（月）14:00～16:00
- ・場所：JICA 本部（1階113会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. 住民説明会における住民からの要望を踏まえ、徒歩や自転車、バイク等で利用可能な道路・橋梁整備について、現地のニーズ調査の実施の要否を含めて、事業実施機関である建設省橋梁局（Ministry of Construction(MOC)と協議し、その結果をDFRに記述すること。

### **環境配慮**

2. モッタマ湾・ラムサール登録地の下流部の一部（マネジメントエリア～コアエリア）において工事前、工事中、供用時の定期的な動植物モニタリングを行うことをDFRに記述すること。

### **社会配慮**

3. シッタン川の架橋地点およびその周辺における漁業や漁業従事者の現状にかかる調査結果を踏まえ、橋梁の建設による影響を評価し、その内容をDFRに記述すること。

4. 過去に、事業区域内で本事業のために用地取得されていたかを確認し、用地取得がなされていた場合はその対応が適切であったかを確認すること。

5. エンタイトルメントマトリクスに記載される住宅移転や樹木などへの補償額の算出方法をDFRに記述すること。

以 上